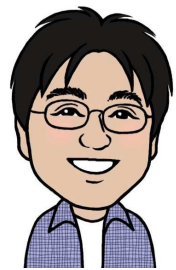


小正月の空に舞う豊作の願い

よこのやま新聞



湯山集落の二年参りへの参加から始まった平成三十年。大変遅くなりましたが本年もよろしくお願いたします。年末年始と楽しい会が連続し、小正月前後は胃が疲れ気味となったが、色々な会に呼んでいただけるとは大変嬉しいことだ。

その小正月。今年は私にとって忘れられない記念となった。
一月十四日は黒倉集落のどんど焼きがあり、設置作業からの手伝いから始まり、昼から火入れ。勢いよく燃え、今年は豊作間違いなし。火が燃え終わった後、



なんと黒倉集落の皆さんに婿投げをしていただくというサブライズが！果報者であります。
翌一月十五日は私ども夫婦の結婚記念日ということ、妻の念願であった湯山の婿投げ、すみ塗りに参加。今年はい三組の方が投げられるということだったが、皆さんを投げ終わった後、なんと番外編で私も投げさせていただくことに！その後のすみ塗りに参加させていた。

皆さんのお心遣いに感謝申し上げます。ありがとうございました。
十二月十六日、新潟県協力隊全体合同募集説明会が表参道の新潟館ネスパスで行われ、十日町市からは担当職員、清津峡の協力隊、そして私の三名が参加した。新潟県全体では約二十の市町村が参加しており、近隣では津南町などの参加があった。

何ってみると、年々協力隊の獲得は困難になってきているそう。現在は全国各地で採用活動が始まっているので、また既に五千名を超える隊員がいる。その中でパイを争っている状況となると確かに難しいだろう。
今後は全国に向けて大きく網を広げるといふ採用活動よりは、何らかのイベントで実際に松之山にきていただき、魅力を知ってもらう活動から始めるべきなのかも。

新潟県協力隊合同募集説明会